

保育：子育てアドバイザー講習会

科目Ⅳ 家族と子育て

「家族の変遷と子どもの価値」

講師：東京女子大学名誉教授

柏木恵子 先生

東京女子大学文学部卒業。東京大学大学院教育心理学専攻博士課程修了。
教育学博士。

現在：東京女子大学名誉教授。

専攻：発達心理学、家族心理学。

著書：『親の発達心理学』（岩波書店）、『子育て支援を考える』（岩波ブックレット）、
『父親の発達心理学（編著）』（川島書店）、『子どもという価値』（中公新書）、
『社会と家族の心理学（共編著）』『エッセンシャル心理学（共著）』『結婚・
家族の心理学（編著）』（以上、ミネルヴァ書房）、『文化心理学（共編著）』『子
どもの「自己」の発達』『家族心理学』（以上、東京大学出版会）、『日本の男
性の心理学（共編著）』（有斐閣）、『子どもが育つ条件』（岩波新書）他。

I 家族とは？

*家族の発達；二つの発達；

①成因の生死／結合／分離／による ②社会変動との連動 Kモデル

II 最近の家族／結婚事情；“崩壊”？ “危機”？

晩婚化／非婚化＝結婚の価値の低下 その原因／背景

少子化

離婚増、特に中高年；満足度／ケア役割におけるジェンダーギャップ

求められる親密圏／問われる衡平性／強まる個人化志向

III 親子の関係の特質

*ヒトの親子関係；その進化的／生物学的基盤

①結合／愛着の関係 ②葛藤／対立の関係

*育児不安の構造とその規定因

①母親の職業の有無 ②父親の育児参加度

*父親と母親

IV 子どもという価値

*親にとっての子どもの価値；『子は宝』か？

*なぜ少子化か？子どもの価値にもジェンダー

*人口革命；子どもの命の出自の変貌

生殖／子の誕生への感情と対処

III 親の教育的営為の特質と問題

*「つくった」子どもの私物化

；「よかれ」「できるだけのことをしてやる」の先回り／介入／支配

*『機能の喜び』体験の欠乏

*近代家族は子育て環境として不適切／不十分

；アロマザリング／父親育児／社会的支援

(参考文献；柏木恵子 2008 『子どもが育つ条件——家族心理学から考える』)